

年度「2019年度シラバス」、フォルダ「名古屋校舎-協定留学生(日本語コース)」
シラバスの詳細は以下となります。

ナンバリング			
科目名	日本語 I		
担当教員	山本 雅子		
対象学年		クラス	C
講義室	L704	開講学期	春学期
曜日・時限	月2	単位区分	
科目種別		単位数	
準備事項			
備考			
テーマ Theme	「生きた教材」を理解し、そこに書かれている内容についての自分の考えを明確に述べる能力をつける。		
概要 Synopsis	さまざまな文章を読解して表現力を高めることにより、パターンから外れ、予期しないコミュニケーション場面に遭遇した場合に、そこで必要とされる事象の「説明・理由づけ」「記述」「報告」「意見表明」などができるレベルに到達できるようになることを目標とする。		
到達目標 Aim	高度な文法、表現を習得し、日本語の理解能力、表現能力を中級から上級レベルへ引き上げる。		
授業形態 Class style	一斉授業		
使用言語 Language(s)	1. <input type="radio"/> 日本語のみ Japanese only 2. <input type="checkbox"/> 日本語と外国語 Japanese and foreign language(s) 3. <input type="checkbox"/> 外国語(日本語以外)のみ Foreign language(s) other than Japanese		
アクティブ・ラーニング Active Learning	1. <input type="radio"/> PBL(課題解決型学習) Project-based learning 2. <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート Discussion , Debate 3. <input type="checkbox"/> グループワーク Group work 4. <input type="checkbox"/> プレゼンテーション Presentation 5. <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク Applied practice , Fieldwork		
内容・スケジュール Contents, schedule	第1回 第1課 しる 第2回 第3課 ならう 第3回 第5課 さばく 第4回 第7課 ふせぐ 第5回 第7課 さふせぐ 第6回 まとめ・臨時試験 第7回 第9課 よびかける 第8回 第9課 よびかける 第9回 第11課 いかす 第10回 第11課 いかす 第11回 第13課 たのしむ 第12回 第13課 たのしむ 第13回 第15課 いきる 第14回 第15課 いきる 第15回 まとめ・臨時試験		
準備学習・事後学習 Preparation, review	ワークブックは予習の段階で解答を書き込んでくること。また、学習した文法項目は、できるかぎりその日のうちに使用してみるよう努力すること。		
学外授業 Outside activities	なし。ただし、グローバルラウンジをしっかりと活用すること。なし、また、日本人学生との協働授業をする機会がある場合には積極的に参加すること。		
	平常評価とする。		

成績評価の方法と基準 Evaluation&criteria	(方 法)定期試験(50%)、課ごとの復習テスト(30%)、宿題(10%)、授業態度(10%) (評価基準)テキストで習得した様々な表現を駆使して、意図することを明確に発話したり、文章にしたりする能力を問う。
定期試験期間中の試験実施方法 Exam period	1.【 】定期試験期間中に筆記試験を実施する。An exam will be held during the exam period. 2.【 】定期試験期間中に単位レポートを課す。A report must be submitted during the exam period. 3.【○】定期試験期間中には筆記試験・単位レポートを実施しない。No exams or report are required during the exam period.
テキスト Textbooks	『上級で学ぶ日本語』研究社、『上級で学ぶ日本語 ワークブック』研究社
参考図書 References	授業のなかで適宜提示する。
関連する科目、履修者への要望 など Requests,etc.	
リンク Link	